

院内検査項目リスト

第 13 版

文書番号：QT/情報/001-4

使用開始日 ： 2023 年 5 月 22 日

初版使用開始日 ： 2020 年 12 月 4 日

作成者	瀬尾 佳代子 	作成日	2023 年 4 月 28 日
確認者	八木 弘文 	確認日	2023 年 5 月 1 日
承認者	木内 洋之 	承認日	2023 年 5 月 2 日

管理責任者の印のない印刷物は ISO 管理外文書とする

改訂/レビュー履歴

版番号	使用開始日	改訂/レビュー内容	作成者	確認者	承認者
			年/月/日	年/月/日	年/月/日
初版	2020/12/04	初版発行	稲毛 敏宏	木内 洋之	荒井 健
			2020/11/24	2020/11/25	2020/11/26
第 2 版	2021/02/05	検査室の連絡先を追加、項目・単位等修正	稲毛 敏宏	木内 洋之	荒井 健
			2021/01/26	2021/01/27	2021/01/28
第 3 版	2021/03/31	共用基準範囲の導入・単位の標記の統一に伴う基準範囲の修正、新規項目の追加、項目名の変更など	稲毛 敏宏	木内 洋之	荒井 健
			2021/03/22	2021/03/23	2021/03/24
第 4 版	2021/08/12	試薬メーカー名変更(日立化成ダイアグノスティックス・システムズ→ミナリスメディカル) 生化学分野で ICG、MAST を対象外とする。	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
			2021/08/02	2021/08/03	2021/08/04
第 5 版	2021/09/02	試薬メーカー名を修正 (キャネメディカルシステムズ/ケンカ)、基準範囲の表現を統一 (「0-x.x」→「x.x 以下 (or 未満)」) 血液検査・一般検査の検査法、検体量、基準範囲などの表記を修正 フローサイトメトリ項目追加	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
			2021/08/23	2021/08/24	2021/08/25
第 6 版	2021/10/07	感染症検査のマイコプラズマ DNA (喀痰) の廃止、マイコプラズマ DNA (咽頭ぬぐい液) の内容修正、SARS-CoV-2 核酸検出検査の新規追加	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
			2021/09/29	2021/09/30	2021/10/01
第 7 版	2021/11/22	「1.2 血液検査」、「1.4 一般検査」 安定性の劣る検体 (血液紫、止血黒、尿一般検査) に関する注意を記述 1.8 病理検査 項目を改訂	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
			2021/11/08	2021/11/09	2021/11/10
		見直し実施 改定なし 稲毛 敏宏 2022/02/02			

第8版	2022/05/31	血液検査のフローサイトメトリーの項目を追加	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
		免疫血清検査のCH50、尿HCG定性の検査法を修正、CEA (CLIA)、 α -フエトプロテイン (CLIA)、抗ds-DNA抗体IgG、MPO-ANCA(P-ANCA)の基準範囲を修正、血中HCGの検体保存期間と備考を修正、尿中C-ペプチドの備考を修正	2022/05/16	2022/05/17	2022/05/18
第9版	2022/08/17	生化学検査の変更 ・ALPの測定法をIFCC対応法に変更、基準範囲38～113U/Lに変更	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
		・LDの測定法をIFCC対応法に変更 ・尿蛋白/Cr比の追加、基準範囲0.00～0.15g/gCr	2022/08/01	2022/08/02	2022/08/03
第10版	2022/09/21	感染症検査の変更 ・CDトキシンの試薬・試薬メーカー名を変更	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
		・マイコプラズマ、百日咳、結核菌・MAC核酸同定の検体保存期間の変更	2022/09/05	2022/09/06	2022/09/07
第11版	2022/10/25	LAP(ロイソアミナプチダーゼ)の基準範囲を30-70U/Lに、1.5AGの基準範囲を14.0 μ g/mL以上に訂正	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
			2022/10/12	2022/10/13	2022/10/14
第12版	2022/12/08	基準範囲の根拠となる情報を表示 「3. 参考文献」を追加。 「試薬メーカー」欄を廃止	稲毛 敏宏	八木 弘文	木内 洋之
		検査材料の見直し 空欄にハイフンを記入 体裁を統一 輸血前保存検体の保存期間を「2年間」、依頼画面を「輸血→輸血検査」と記載 2022/02/02の見直し実施の履歴を追加	2022/11/22	2022/11/24	2022/11/25
第13版	2023/05/22	生理機能検査の項目の改訂	瀬尾 佳代子	八木 弘文	木内 洋之
		免疫血清検査のASO、HA、IgM-HA、抗HCV抗体、HIV-1/2抗体、CEA、CA19-9、SCC、CA125、血中HER2/neu、BNPの基準範囲の変更、HA、IgM-HAの単位変更、梅毒TP抗体、HIV-1/2、HTLV-I、PIVKA-2、Sm抗体、RNP抗体、SS-A抗体、SS-B抗体、インスリン、C-ペプチドの名称変更、 フェノバルビタールの基準範囲の根拠文献の変更 病理のスライド保管期間の変更	2023/04/28	2023/05/01	2023/05/02

目次

1. 院内検査項目・測定法・採取容器・基準範囲等.....	5
1.1 生化学検査.....	5
1.2 血液検査.....	10
1.3 免疫血清検査.....	13
1.4 一般検査.....	18
1.5 輸血検査.....	19
1.6 感染症検査.....	20
1.7 生理機能検査.....	21
1.8 病理検査.....	24
2. 検査室の連絡先.....	27
2.1 住所.....	27
2.2 電話番号.....	27
3. 参考文献.....	27

1. 院内検査項目・測定法・採取容器・基準範囲等

1.1 生化学検査

■専用容器、■冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名		検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
血清アミロイドA、SAA		血清	生化青2	3mL	ラテックス凝集比濁法	8.0以下	μg/mL	※3	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	この2項目は同時に 依頼できません
CRP		血清	生化青2	3mL	ラテックス凝集比濁法	0.14以下	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	
Na		血清	生化青2	3mL	電位差測定（イオン選択電極）	138 - 145	mmol/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
K		血清	生化青2	3mL	電位差測定（イオン選択電極）	3.6 - 4.8	mmol/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
Cl		血清	生化青2	3mL	電位差測定（イオン選択電極）	101 - 108	mmol/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
Ca		血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法（アルセナゾⅢ法）	8.8 - 10.1	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
IP（無機リン）		血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法（酵素法）	2.7 - 4.6	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
BUN（尿素窒素）		血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法（ウレアゼUV法）	8.0 - 20.0	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
クレアチニン	クレアチニン	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法（酵素法）	男：0.65-1.07 女：0.46-0.79	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
	換算GFR値	-	-	-	計算法	-	mL/min	-	-	-	-	クレアチニンを測定すると計 算値を報告
クレアチンクリアランス（CG法）		-	生化青2	3mL	計算法	-	mL/min	-	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	クレアチニンも同時に依 頼が必要
尿酸（UA）		血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法（酵素法：ウリ カーゼ-POD法）	男：3.7-7.8 女：2.6-5.5	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
総タンパク		血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	6.6 - 8.1	g/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
アルブミン	アルブミン	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法（BCP改良法）	4.1 - 5.1	g/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
	アルブミン/グロブリン比				計算法	1.32 - 2.23		※2				-
総ビリルビン		血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	0.4 - 1.5	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
直接ビリルビン		血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	0.3以下	mg/dL	※1	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
AST（GOT）		血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法（JSCC標準化対 応法）	13 - 30	U/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
ALT（GPT）		血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法（JSCC標準化対 応法）	男：10 - 42 女：7 - 23	U/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-

生化学検査 ■ 専用容器、■ 冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名	検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
乳酸脱水素酵素(LD)	血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法(IFCC対応法)	124 - 222	U/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
CPK (CK、クレアチンキナーゼ)	血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法(JSCC標準化対応法)	男:59-248 女:41-153	U/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
アルカリフォスファターゼ(ALP)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法 (IFCC対応法)	38 - 113	U/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
γGT (γ-GTP)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法 (JSCC標準化対応法)	男:13 - 64 女:9 - 32	U/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
ChE (コリンエステラーゼ)	血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法(JSCC標準化対応法)	男:240 - 486 女:201 - 421	U/L	※2	1時間	4日間	一般生化・血液	-
総コレステロール	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	142 - 248	mg/dL	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
中性脂肪(トリグリセリド)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法 (FG消去酵素法)	男:40-149 女:30-149	mg/dL	※2※4	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
総コレステロール	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	142 - 248	mg/dL		1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	コレステロールは、3項目のうち2項目まで依頼可能
HDLコレステロール	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	男:40-90 女:40-103	mg/dL	※2※4	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	
LDLコレステロール (直接法)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	65 - 139	mg/dL	※2※4	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	
LAP (ロイシンアミノペプチダーゼ)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法(GSCC標準法)	30 - 70	U/L	※1	1時間	4日間	一般生化・血液	-
アルドラーゼ	血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法(酵素法)	6.0以下	U/L	※1	1時間	4日間	一般生化・血液	-
血清アミラーゼ	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法 (JSCC標準化対応法)	44 - 132	U/L	※2	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	-
血清リパーゼ	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法 (DGGMR法)	13 - 55	U/L	※3	1時間	4日間	生化・尿化・ワ氏	-
総鉄結合能(TIBC)	血清	生化青2	3mL	計算法 (UIBC+Fe)		μg/dL		1時間	4日間	-	-
不飽和鉄結合能(UIBC)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	男:111-255 女:137-325	μg/dL	※6	1時間	4日間	生化・尿化・ワ氏、 金属・色素・先天性	-
Fe (血清鉄)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法 (ニトロソPSAP法)	40 - 188	μg/dL	※2	1時間	4日間	生化・尿化・ワ氏、 金属・色素・先天性	-
Cu (血清銅)	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法	71 - 132	μg/dL	※3	1時間	4日間	生化・尿化・ワ氏、 金属・色素・先天性	-
Mg (マグネシウム)	血清	生化青2	3mL	紫外吸光光度法(酵素法: GK-G6PDH法)	1.8 - 2.4	mg/dL	※3	1時間	4日間	生化・尿化・ワ氏	-
グリコアルブミン	血清	生化青2	3mL	可視吸光光度法 (酵素法)	11.0 - 16.0	%	※3	1時間	4日間	緊急、外来迅速、 糖・血液・呼吸・ビタミン	-

生化学検査 ■専用容器、■冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名		検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
血清蛋白分画	ALB	血清	生化青2	3mL	アガロースゲル電気泳動法	54.8 - 65.4	%	※1	2時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏	-
	α 1					2.3 - 3.8	%	※1				
	α 2					5.0 - 8.9	%	※1				
	β					9.0 - 14.6	%	※1				
	γ					13.2 - 23.9	%	※1				
	A/G					1.21 - 1.89		※1				
	TP					* 検体採取日の血清蛋白測定値を引用						
尿ーナトリウム		尿	生化尿白41	10mL	電位差測定（イオン選択電極）	-	mmol/L	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿ーカリウム		尿	生化尿白41	10mL	電位差測定（イオン選択電極）	-	mmol/L	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿ークロール		尿	生化尿白41	10mL	電位差測定（イオン選択電極）	-	mmol/L	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿ーカルシウム		尿	生化尿白41	10mL	可視吸光光度法（アルセナゾⅢ法）	-	mg/dL	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿ー無機リン		尿	生化尿白41	10mL	可視吸光光度法	-	mg/dL	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿ー尿素窒素		尿	生化尿白41	10mL	紫外吸光光度法（ウレアーゼUV法）	-	mg/dL	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿ークレアチニン		尿	生化尿白41	10mL	可視吸光光度法	-	mg/dL	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿ー尿酸		尿	生化尿白41	10mL	可視吸光光度法（酵素法）	-	mg/dL	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿蛋白定量		尿	生化尿白41	10mL	可視吸光光度法（比色法、ピロガロールレッド法）	-	mg/dL	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿糖定量		尿	生化尿白41	10mL	紫外吸光光度法	-	mg/dL	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿アミラーゼ		尿	生化尿白41	10mL	可視吸光光度法（JSCC標準化対応法）	-	U/L	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿中アルブミン(TIA)	尿中アルブミン	尿	生化尿白41	10mL	免疫比濁法（TIA法）	-	μ g/mL		1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
	CREカンザン	尿	生化尿白41	10mL	計算法	30.0未満	mg/gCr	※1	1時間	1日	-	-
尿NAG		尿	生化尿白41	10mL	紫外吸光光度法	0.7 - 11.2	U/L	※1	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
尿中β 2マイクログロブリン		尿	生化尿白41	10mL	ラテックス凝集比濁法	250以下	μ g/L	※3	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏 マーカー	-
推定1日食塩摂取量		尿	生化尿白41	10mL	計算法	-	g/day	-	1時間	1日	生化・尿化・ワ氏	・尿ーナトリウムと尿ークレアチニンの依頼が必要 ・身長・体重の入力が必要
尿蛋白/Cr比		尿	生化尿白41	10mL	計算法	0.00 - 0.15	g/gCr	※5	1時間	1日	-	-
血漿浸透圧		血漿	浸透圧緑6	5mL	氷点降下法	270 - 290	mOsm/kgH ₂ O	※3	1時間	1日	機能検査	-
尿浸透圧		尿	浸透圧白41	10mL	氷点降下法	50 - 1300	mOsm/kgH ₂ O	※3	1時間	1日	機能検査	-

生化学検査 ■専用容器、■冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名		検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
血糖		血漿	生化灰3 / 緊急生化灰3	2mL	紫外吸光光度法	73 - 109	mg/dL	※2	1時間	1日	緊急、外来迅速、糖・血液・呼吸・ビタミン	-
乳酸(LA)		血漿	生化灰3 / 緊急生化灰3	2mL	酵素法(可視吸光光度法)	4.0 - 16.0	mg/dL	※3	1時間	1日	緊急、外来迅速	-
HbA1c	HbA1c(国際標準値)	全血(EDTA/NaF)	生化学A1c灰3	2mL	高速液体クロマトグラフィー(HPLC)	4.9 - 6.0	%	※2	10分	1日	緊急、外来迅速	時間外は測定できません
LDH-Isoenzyme	LDH-1	血清	特殊青2	3mL	アガロースゲル電気泳動法	20.0-31.0	%	※1	2時間	-	蛋白・脂質・酵素、糖・血液・呼吸・ビタミン	-
	LDH-2					28.8-37.0	%	※1				
	LDH-3					21.5-27.6	%	※1				
	LDH-4					6.3-12.4	%	※1				
	LDH-5					5.4-13.2	%	※1				
	TLDH				検体採取日のLDH測定値を引用	-	U/L	-				
CK-Isoenzyme	BB	血清	特殊青2	3mL	アガロースゲル電気泳動	0.0-1.8	%	※1	1時間	-	蛋白・脂質・酵素	-
	MB					0.0-2.7	%	※1				
	MM					95.8-100.0	%	※1				
	T-CK				検体採取日のCK測定値を引用	-	U/L	-				
CK-MB		血清	特殊青2	3mL	紫外吸光光度法(免疫阻害法)	6以下	U/L	※3	1時間	-	蛋白・脂質・酵素	-
甲状腺刺激ホルモン(TSH)		血清	生化青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	0.270-4.200	μIU/mL	※1	1時間	4日間	緊急、外来迅速、内分泌A、内分泌・日内	時間外は測定できません
遊離トリヨードサイロニン(FT3)		血清	生化青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	2.30 - 4.00	pg/mL	※1	1時間	4日間	緊急、外来迅速、内分泌A	時間外は測定できません
遊離サイロキシン(FT4)		血清	生化青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	0.93 - 1.70	ng/dL	※1	1時間	4日間	緊急、外来迅速、内分泌A	時間外は測定できません
コルチゾール		血清	特殊青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	7.1-19.6	μg/dL	※1	1時間	4日間	内分泌A 内分泌・日内	-
フェリチン		血清	特殊青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	男:39.0-465.0 女:6.0-138.0	ng/mL	※1	1時間	4日間	マーカー 糖・血液・呼吸・ビタミン	-
β2-マイクログロブリン		血清	特殊青2	3mL	ラテックス凝集比濁法	0.8 - 2.0	mg/L	※3	1時間	4日間	マーカー	-
1.5-AG		血清	特殊青2	3mL	可視吸光光度法	14.0以上	μg/mL	※3	1時間	4日間	糖・血液・呼吸・ビタミン	-
サイトケラチン19フラグメント(シフラ)		血清	特殊青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	3.5以下	ng/mL	※1	1時間	4日間	マーカー	-
PSA		血清	特殊青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	4.000以下	ng/mL	※1	1時間	4日間	外来迅速、マーカー	時間外は測定できません
NT-proBNP		血清	特殊青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	125.0以下	pg/mL	※1	1時間	4日間	緊急外来迅速、内分泌B	・時間外は測定できません BNPと同時に依頼できません
抗TSHレセプター抗体		血清	特殊青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	2.00未満	IU/L	※1	1時間	4日間	内分泌A	-

生化学検査 ■ 専用容器、■ 冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名		検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
ケトン体分画	総ケトン体	血漿	特殊灰3	2mL	酵素サイクリング法	28 - 120	μmol/L	※1	1時間	当日	糖・血液・呼吸・ビタミン	採取後、迅速に提出
	3-ヒドロキシ酪酸(3-HB)	血漿	特殊灰3	2mL	酵素サイクリング法	74以下	μmol/L	※3	1時間	当日	糖・血液・呼吸・ビタミン	
	アセト酢酸(ACAC)	血漿	特殊灰3	2mL	計算法(総ケトン体-3HB)	14 - 68	μmol/L	※3	1時間	当日	糖・血液・呼吸・ビタミン	
グルコース(髄液)	GLU	髄液	緊急髄液白41	1mL	紫外吸光光度法(UV法)	50 - 75	mg/dL	※3	1時間	1日	緊急、外来迅速	-
蛋白量(髄液)	蛋白量	髄液	緊急髄液白41	1mL	可視吸光光度法(比色法、ピロガロールレッド法)	15 - 45	mg/dL	※3	1時間	1日	緊急、外来迅速	-
クロール(髄液)	クロール	髄液	緊急髄液白41	1mL	電位差測定(イオン選択電極)	120 - 125	mmol/L	※3	1時間	1日	緊急、外来迅速	-
細胞数(髄液)	細胞数	髄液	緊急髄液白41	1mL	鏡検法	5以下	/μL	※3	1時間	1日	緊急、外来迅速	-
	単核球						/μL					-
	多核球						/μL					-
ACTH		血漿	ACTH紫氷冷8	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ(ECLIA)	7.2 - 63.3	pg/mL	※1	1時間		内分泌A、内分泌・日内	採取後、氷冷して迅速に提出
血漿アンモニア		血漿	生化学緑氷冷54	2mL	可視吸光光度法(酵素法)	12 - 66	μg/dL	※3	1時間	当日	緊急、外来迅速	採取後、氷冷して迅速に提出
血液ガスセット	pH	全血(ヘパリン)	血ガス用シリンジ	1mL	その他の電気化学分析法	7.350-7.450		※3	10分	当日	緊急、外来迅速	採取後、氷冷して迅速に提出
	PCO ₂				その他の電気化学分析法	35.0 - 45.0	Torr	※3				
	PO ₂				その他の電気化学分析法	80.0 - 100.0	Torr	※3				
	HCO ₃ ⁻				計算法	21.0 - 27.0	mmol/L	※3				
	BE				計算法		mmol/L					
	O ₂ SAT				計算法	94.0以上	%	※3				
	TCO ₂				計算法	23.0 - 27.0	mmol/L	※7				
血沈	血沈 0.5	全血(クエン酸Na)	血沈橙5	2mL	ウェスターグレン法	-	mm	-	2時間	1日	生化・尿化・ワ氏	-
	血沈 1						mm					
	血沈 2						mm					

※1 メーカー添付文書

※2 共用基準範囲

※3 臨床検査法提要第35版

※4 動脈硬化性疾患予防ガイドライン(日本動脈硬化学会)

※5 エビデンスに基づくCKDガイドライン(日本腎臓学会)

※6 日本臨床検査自動化学会会誌,13(5),659,1988

※7 緊急検査～血液ガス分析テキスト～(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株))

1.2 血液検査

血液検査 ■専用容器、■冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名		検査材料	採取容器	検体量 (微量容器)	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲 の根拠	所要時間	検体保存 期間	依頼画面	備考
CBC												
WBC (白血球数)		全血(EDTA・2K)	血液紫7	2mL(0.25mL)	自動機械法 (フローサイトメリー法)	33 - 86	×10 ² /μL	※2	緊急:60分 日常:210分	1日	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	追加検査は 提出後4時間 まで可能
RBC (赤血球数)		全血(EDTA・2K)	血液紫7	2mL(0.25mL)	自動機械法 (シーフロー-DC検出 法)	男:435 - 555 女:386 - 492	×10 ⁴ /μL	※2	緊急:60分 日常:210分	1日		
Hb (ヘモグロビン濃度)		全血(EDTA・2K)	血液紫7	2mL(0.25mL)	自動機械法 (SLS-ヘモグロビン法)	男:13.7 - 16.8 女:11.6 - 14.8	g/dL	※2	緊急:60分 日常:210分	1日		
Ht (ヘマトクリット値)		全血(EDTA・2K)	血液紫7	2mL(0.25mL)	自動機械法 (シーフロー-DC検出 法)	男:40.7 - 50.1 女:35.1 - 44.4	%	※2	緊急:60分 日常:210分	1日		
血小板数		全血(EDTA・2K)	血液紫7	2mL(0.25mL)	自動機械法 (シーフロー-DC検出法、 フローサイトメリー法)	15.8 - 34.8	×10 ⁴ /μL	※2	緊急:60分 日常:210分	1日		
平均赤血球容積 (MCV)		—	—	—	計算法	83.6 - 98.2	fL	※2	緊急:60分 日常:210分	—	—	RBC、Hb、Ht の測定値から 計算して報告
平均赤血球ヘモグロビン量 (MCH)		—	—	—	計算法	27.5 - 33.2	pg	※2	緊急:60分 日常:210分	—	—	
平均赤血球ヘモグロビン濃度 (MCHC)		—	—	—	計算法	31.7 - 35.3	%	※2	緊急:60分 日常:210分	—	—	
血液像 (末梢血)												
血液像 (自動機械法)	好中球	全血 (EDTA・2K)	血液紫7	2mL(0.25mL)	自動機械法 (フローサイトメリー法)	38.5 - 80.5	%	※3	緊急:60分 日常:210分	1日	緊急、外来迅速、 一般生化・血液	—
	好酸球					0.0 - 8.5	%	※3				
	好塩基球					0.0 - 2.5	%	※3				
	リンパ球					16.5 - 49.5	%	※3				
	単球					2.0 - 10.0	%	※3				
	血液像 (鏡検法)					桿状核球	全血 (EDTA・2K)	血液紫7				
分節核球		38.0 - 74.0	%	※3	210分							
好酸球		0.0 - 8.5	%	※3	210分							
好塩基球		0.0 - 2.5	%	※3	210分							
リンパ球		16.5 - 49.5	%	※3	210分							
単球		2.0 - 10.0	%	※3	210分							
網状赤血球		網状赤血球比率	全血 (EDTA・2K)	血液紫7	2mL(0.25mL)	自動機械法 (フローサイトメリー法)	0.8 - 1.8	%	※4	緊急:60分 日常:210分	1日	—
網状赤血球絶対数												

※1 メーカー添付文書 ※2 共用基準範囲 ※3 臨床検査法提要第35版 ※4 正常値ハンドブック改訂第3版

血液検査 ■専用容器、■冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名		検査材料	採取容器	検体量 (微量容器)	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲 の根拠	所要時間	検体保存 期間	依頼画面	備考
骨髓像												
骨髓像	細胞数	骨髓液 (EDTA・2K)	—	—	計算盤法	10.0 - 20.0	×10 ⁴ /μL	※3	当日	—	骨髓像・FCM	標本は10年 間保存
	巨核球数		—	—	計算盤法	50.0 - 150.0	/μL	※3	当日	—		
	骨髓像		—	—	鏡検法	—	—	—	1ヶ月以内	—		
特殊染色												
ペルオキシダーゼ染色	骨髓液または全血(EDTA・2K)	—	—	ペルオキシダーゼ染色(DAB法)	—	—	—	1ヶ月以内	1日	骨髓像・FCM	—	
好中球ALP染色	全血 (ヘパリン・Na)	緑54	—	アルカリフォスファターゼ染色(アゾ色素法)	—	—	—	1ヶ月以内	1日			
PAS染色	骨髓液または全血(EDTA・2K)	—	—	PAS染色 (過ヨウ素酸シッフ法)	—	—	—	1ヶ月以内	1日			
エステラーゼ染色	骨髓液または全血(EDTA・2K)	—	—	エステラーゼ染色 (アゾ色素法)	—	—	—	1ヶ月以内	1日			
鉄染色	骨髓液または全血(EDTA・2K)	—	—	鉄染色(ベルリン青法)	—	—	—	1ヶ月以内	1日			
止血・凝固検査												
プロトロンビン時間	プロトロンビン時間	血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	凝固時間測定	80 - 100	%	※1	緊急:60分 日常:100分	1日	緊急、外来迅速、 止血・凝固・血小板	・採血量を厳守 ・追加検査は、提出後4時間まで可能。
	プロトロンビン-国際標準比					0.85 - 1.15	(INR値)	※1				
APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間)		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	凝固時間測定	24.0 - 32.0	秒	※1	緊急:60分 日常:100分	1日		
フィブリノゲン		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	凝固時間測定	200 - 400	mg/dL	※1	緊急:60分 日常:100分	1日		
血漿FDP		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	ラテックス凝集比濁法	0.0 - 5.0	μg/mL	※3	緊急:60分 日常:100分	1日		
Dダイマー		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	ラテックス凝集比濁法	0.0 - 1.0	μg/mL	※1	緊急:60分 日常:100分	1日		
ATⅢ (アンチトロンビンⅢ)		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	合成基質法	80 - 130	%	※1	緊急:60分 日常:100分	1日		
プラスミノゲン		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	合成基質法	80 - 130	%	※1	100分	1日		
PIC (プラスミン-プラスミンインヒター複合体)		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	ラテックス凝集比濁法	0 - 0.8	μg/mL	※4	100分	1日		
可溶性フィブリンモノマー複合体		血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	ラテックス凝集比濁法	6.1以下	μg/mL	※1	100分	1日		
ループスアンチコアグラント	ループスアンチコアグラント	血漿	止血黒10	1.8mL(0.9mL)	凝固時間法(希釈ラッセル蛇毒時間法)	0 - 1.3	ratio	※1	100分	1日	止血・凝固・血小板	・採血量を厳守 ・追加検査は原則不可。
	LA1					—	sec	—				
	LA2					—	sec	—				

※1 メーカー添付文書 ※2 共用基準範囲 ※3 臨床検査法提要第35版 ※4 正常値ハンドブック改訂第3版

血液検査 ■専用容器、■冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名	検査材料	採取容器	検体量 (微量容器)	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲 の根拠	所要時間	検体保存 期間	依頼画面	備考			
凝固因子														
凝固第Ⅱ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日	止血・凝固・血 小板	・採血量を厳 守・追加検査 は原則不可。			
凝固第Ⅴ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日					
凝固第Ⅶ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日					
凝固第Ⅷ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日					
凝固第Ⅸ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日					
凝固第Ⅹ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日					
凝固第ⅩⅠ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日					
凝固第ⅩⅡ因子活性	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	凝固時間測定法	60 - 140	%	※3	当日	1日					
凝固第ⅩⅢ因子定量	血漿	凝固因子 黒10	1.8mL (0.9mL)	ラテックス凝集比濁法	73.2 - 142.4	%	※3	当日	1日					
フローサイトメリー検査														
T細胞・B細胞 百分率	T細胞%	全血 (EDTA・2K)	FCM紫7	2mL	フローサイトメリー法	58 - 84	%	※5	当日	1日	一般生化・血液	-		
	B細胞%					5 - 24	%	※5						
	CD56					10 - 38	%	※5						
T細胞サブセッ ト検査	CD4%	全血 (EDTA・2K)	FCM紫7	2mL	フローサイトメリー法	25 - 56	%	※5	当日	1日			骨髓像・FCM	
	CD8%					17 - 44	%	※5						
	CD4/CD8比					0.6 - 2.9	—	※5						
FCM 白血病セット(PB)	全血 (EDTA・2K)	FCM紫7	2mL	フローサイトメリー法	—	—	—	1～3日	1日	骨髓像・FCM				・材料はリン パ節等の組 織、体腔液に ついても検査 可能
FCM 悪性リンパ腫セット(PB)	全血 (EDTA・2K)	FCM紫7	2mL	フローサイトメリー法	—	—	—	1～3日	1日					
FCM 形質細胞腫瘍セット(PB)	全血 (EDTA・2K)	FCM紫7	2mL	フローサイトメリー法	—	—	—	1～3日	1日					
FCM 白血病セット(BM)	骨髓液 (EDTA・2K)	骨髓検査	—	フローサイトメリー法	—	—	—	1～3日	1日					
FCM 悪性リンパ腫セット(BM)	骨髓液 (EDTA・2K)	骨髓検査	—	フローサイトメリー法	—	—	—	1～3日	1日					
FCM 形質細胞腫瘍セット(BM)	骨髓液 (EDTA・2K)	骨髓検査	—	フローサイトメリー法	—	—	—	1～3日	1日					

※1 メーカー添付文書 ※2 共用基準範囲 ※3 臨床検査法提要第35版 ※4 正常値ハンドブック第3版 ※5 スタンダードフローサイトメリー第2版

1.3 免疫血清検査

■ 専用容器、■ 冷蔵or冷蔵+専用容器

項目名	検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
免疫グロブリン、補体など											
IgE（非特異的）	血清	生化青 2	2mL	ラテックス免疫比濁法(LTIA)	358.0以下	IU/mL	※3	1時間	1ヶ月	免疫	-
IgA	血清	生化青 2	2mL	免疫比濁法(TIA)	93 - 393	mg/dL	※1	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
IgG	血清	生化青 2	2mL	免疫比濁法(TIA)	861 - 1747	mg/dL	※1	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
IgM	血清	生化青 2	2mL	免疫比濁法(TIA)	男:33 - 183 女:50 - 269	mg/dL	※1	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
C3	血清	生化青 2	2mL	免疫比濁法(TIA)	73 - 138	mg/dL	※1	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
C4	血清	生化青 2	2mL	免疫比濁法(TIA)	11 - 31	mg/dL	※1	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
CH50	血清	CH50青冷 2	2mL	Mayer法相対比濁法	30.0 - 46.0	CH50/mL	※2	1時間	1年	生化・尿化・ワ氏、免疫	採取後、氷冷して迅速に提出
ASO	血清	血清青 2	2mL	ラテックス免疫比濁法(LTIA)	239以下	IU/mL	※2	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
RF定量	血清	血清青 2	2mL	ラテックス免疫比濁法(LTIA)	15以下	IU/mL	※2	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
MMP-3	血清	血清青 2	2mL	ラテックス免疫比濁法(LTIA)	男: 36.9-121.0 女: 17.3-59.7	ng/mL	※2	1時間	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	-
KL-6	血清	血清青 2	2mL	化学発光酵素免疫測定法(CLEIA)	105-435	U/mL	※2	1時間	1ヶ月	糖・血液・呼吸・ビタミン	-
感染症関連検査(梅毒)											
定性RPR	血清	免疫青 2	3mL	ラテックス免疫比濁法(LTIA)	(-)	-	※4	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、感染	-
定量RPR	血清	免疫青 2	3mL	ラテックス免疫比濁法(LTIA)	1.0未満	R.U.	※4	2時間	5ヶ月	感染	定性検査が陽性の場合のみオーダー可能
梅毒TP抗体EIA	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ(CLIA)	(-) 1.00未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、感染	-
定量TPPA	血清	免疫青 2	3mL	粒子凝集反応	(-) 80倍未満	倍	※2	4時間	5ヶ月	感染	-

※1 共用基準範囲 ※2 メーカー添付文書 ※3 Medical Practice vol.4 ※4 日本臨牀 68巻 増刊号6 ※5 日本臨牀 68巻 増刊号1 ※6 小児科49増刊号2017

免疫血清検査 ■専用容器、■冷蔵or冷蔵+専用容器

項目名	検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
感染症関連検査 (肝炎ウイルス、HIVなど)											
HA抗体 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	1.00未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	ウイルス検査B	この2項目は同時に依頼できません
IgM-HA抗体 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	0.80未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	ウイルス検査B	
HBs抗原 (スクリーニング)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	(-)	-	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、ウイルス検査B	この3項目のうちで1項目のみ依頼可能。陰性結果の数値は参考値です。
HBs抗原 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	(-) 0.05未満	IU/mL	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、ウイルス検査B	
HBs抗原(High-sensitive)	血清	HQ-HB青 2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	0.005未満	IU/mL	※2	2時間	5ヶ月	ウイルス検査B	
HBs抗体 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	(-) 10未満	mIU/mL	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、ウイルス検査B	-
HBe抗原 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	(-) 1.00未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	ウイルス検査B	-
HBe抗体 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	(-) 50.00未満	%INH	※2	2時間	5ヶ月	ウイルス検査B	-
HBc抗体 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	1.00未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	ウイルス検査B	-
IgM-HBc抗体 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	1.00未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	ウイルス検査B	-
抗HCV抗体 (スクリーニング)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	1.00未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、ウイルス検査B	-
術前 HIVスクリーニング (保険請求不可)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	(-)	-	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏	陽性の場合、確認検査終了まで結果保留
HIV-1/2抗体 (CLIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	1.00未満	S/CO	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、ウイルス検査B	陽性の場合、確認検査終了まで結果保留
HTLV-1 (EIA) HTLV-1抗体 (スクリーニング・EIA)	血清	免疫青 2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	1.0未満	C.O.I.	※2	2時間	5ヶ月	生化・尿化・ワ氏、ウイルス検査B	-
HCV-RNA定量リアルタイムPCR	血清	HCVリ桃 45	6mL	リアルタイムPCR法	ミケンシュツ	LogIU/mL	※2	1～3日	2年	ウイルス検査B	専用容器に真空採血
HBV-DNA定量リアルタイムPCR	血清	HBVリ桃 44	6mL	リアルタイムPCR法	ミケンシュツ	LC/mL LIU/mL	※2	1～3日	2年	ウイルス検査B	・専用容器に真空採血 ・LC/mLおよびLIU/mLでの測定値を併記して報告

※1 共用基準範囲 ※2 メーカー添付文書 ※3 Medical Practice vol.4 ※4 日本臨牀 68巻 増刊号6 ※5 日本臨牀 68巻 増刊号1 ※6 小児科49増刊号2017

免疫血清検査 ■専用容器、■冷蔵or冷蔵+専用容器

項目名	検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
腫瘍マーカー、肝線維化マーカー											
CEA (CLIA)	血清	免疫青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	5.0以下	ng/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
CA19-9 (CLIA)	血清	免疫青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	37以下	U/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
α-フェトプロテイン (CLIA)	血清	免疫青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	9未満	ng/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
SCC抗原 (CLIA)	血清	免疫青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	1.5以下	ng/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
CA-125 (CLIA)	血清	免疫青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	35以下	U/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
血中HER2/neu	血清	免疫青2	3mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	15.2以下	ng/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
PIVKA-2 (ECLIA)	血清	免疫青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	40未満	mAU/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
インターロイキン2受容体	血清	免疫青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	121 - 613	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
M2BPGi	血清	免疫青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	(+) 1.00 - 2.99 (-) 3.00以上	C.O.I.	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	この2項目は同時に依頼できません
オートタキシン	血清	免疫青2	3mL	蛍光酵素免疫測定法 (FEIA)	男: 0.910未満 女: 1.270未満	mg/mL	※2	2時間	5ヶ月	マーカー	-
自己免疫関連検査											
抗核抗体 / 抗核抗体 (IF)	血清	血清青2	2mL	間接蛍光抗体法 (IF)	40未満	倍	※2	1~3日	1ヶ月	生化・尿化・ワ氏、免疫	染色型は3種類まで報告
抗ds-DNA抗体IgG	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	12.0以下	IU/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
抗Sm抗体 (EIA)	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	10.0未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
抗RNP抗体 (EIA)	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	10.0未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
抗SS-A抗体 (EIA)	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	10.0未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
抗SS-B抗体 (EIA)	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	10.0未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
抗セントロメア抗体 (CENP-B)	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	10.0未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
MPO-ANCA (P-ANCA)	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	3.5未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
抗CCP抗体	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	4.5未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-
PR3-ANCA (C-ANCA)	血清	血清青2	3mL	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	3.5未満	U/mL	※2	2時間	1ヶ月	免疫	-

※1 共用基準範囲 ※2 メーカー添付文書 ※3 Medical Practice vol.4 ※4 日本臨牀 68巻 増刊号6 ※5 日本臨牀 68巻 増刊号1 ※6 小児科49増刊号2017

免疫血清検査 ■専用容器、■冷蔵or冷蔵+専用容器

項目名	検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
内分泌関連検査											
心筋トロポニンI	血清	トロポI青2	血清	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	男: 34.2未満 女: 15.6未満	pg/mL	※2	1時間	1年	蛋白・脂質・酵素	
BNP (ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	血漿 (EDTA・2Na)	BNP紫冷8	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	18.4以下	pg/mL	※2	1.5時間	1年	内分泌B	・採取後、氷冷して迅速に提出 ・NT-proBNPと同時に依頼できません
血中HCG	血清	血清青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	男: 0.5未満 女: 疾患・時期により異なります。問い合わせして下さい。	mIU/mL	※2	2時間	1ヶ月	内分泌B	intact hCGと遊離hCG-βサブユニットを合わせた総βHCGを測定
尿HCG定性	尿	尿hCG白41	2mL	イムノクロマトグラフィー法	-	-	-	1時間	1年	生化・尿化・ワ氏、内分泌B	intact hCGのみを測定
尿中C-ペプチド	尿中C-ペプチド	尿	尿Cペプ白41	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	ng/mL	-	1.5時間	1年	内分泌B	+intact hCGのみを測定 ・蓄尿の場合、安定化剤を添加。必ず尿量を検体に記載。
	CPR尿量				-	L/day	-				
	尿中CPR1日量				-	μg/day	-				
インスリン-(EIA) インスリン 空腹時	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	1.1 - 17.0	μU/mL	※2	1.5時間	1年	内分泌B、糖・血液・呼吸・ビタミン、糖負荷・日内変動	-
インスリン 30分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	μU/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
インスリン 60分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	μU/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
インスリン 90分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	μU/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
インスリン 120分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	μU/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
インスリン 150分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	μU/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
インスリン 180分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	μU/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
C-ペプチド-(EIA) C-ペプチド 空腹時	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	0.69 - 2.45	ng/mL	※2	1.5時間	1年	内分泌B、糖・血液・呼吸・ビタミン、糖負荷・日内変動	-
C-ペプチド 30分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	ng/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
C-ペプチド 60分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	ng/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-
C-ペプチド 90分	血清	糖負荷青2	2mL	蛍光酵素免疫測定法(FEIA)	-	ng/mL	-	1.5時間	1年	糖負荷・日内変動	-

※1 共用基準範囲 ※2 メーカー添付文書 ※3 Medical Practice vol.4 ※4 日本臨牀 68巻 増刊号6 ※5 日本臨牀 68巻 増刊号1 ※6 小児科49増刊号2017

免疫血清検査 ■専用容器、■冷蔵or冷蔵+専用容器

項目名	検査材料	採取容器	検体量	検査方法	基準範囲	単位	基準範囲の根拠	所要時間	検体保存期間	依頼画面	備考
血中薬物濃度、薬剤応答遺伝子検査											
カルバマゼピン	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	4.0-12.0 (トラフ値)	μg/mL	※2	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	・テイコプラニンのみ生化学検査室で測定。 ・血中薬物濃度の測定は、依頼目的に応じて採血のタイミングを厳守。 (トラフ: 次回投与30分前以内)
バルプロ酸ナトリウム	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	50.0-100.0 (トラフ値)	μg/mL	※2	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
フェニトイン	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	10.0-20.0 (トラフ値)	μg/mL	※2	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
フェノバルビタール	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	10.0-40.0 (トラフ値)	μg/mL	※6	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
ジゴキシシン	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	0.5-1.5 (トラフ値)	ng/mL	※5	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
デスラノシド	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	0.5-1.5 (トラフ値)	ng/mL	※5	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
メチルジゴキシシン	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	0.5-1.5 (トラフ値)	ng/mL	※5	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
テオフィリン	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	5.0-20.0 (トラフ値)	μg/mL	※5	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
バンコマイシン	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	10.0-20.0 (トラフ値)	μg/mL	※5	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
テイコプラニン	血清	薬物青2	2mL	ラテックス凝集比濁法	15.0-30.0 (トラフ値)	ng/mL	※2	1時間	1ヶ月	体液中薬物濃度	
メトトレキサート	血清	薬物青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	10.000未満 (24hr後) 1.000未満 (48hr後) 0.100未満 (72hr後)	μmol/L	※2	2時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	・治療濃度は、各種ガイドラインおよび当院安全対策マニュアルの記載を参照。
タクロリムス	全血 (EDTA・2K)	薬物紫7	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	疾患・時期により異なります。問い合わせして下さい。	ng/mL	-	2時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
シクロスポリン	全血 (EDTA・2K)	薬物紫7	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA)	疾患・時期により異なります。問い合わせして下さい。	ng/mL	-	2時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	
インフリキシマブ定性	血清	インフリキシマブ青2	1mL	イムノクロマトグラフィ法	-	-	-	1時間	3ヶ月	体液中薬物濃度	-
UGT1A1 28,6遺伝子解析	全血 (EDTA・2Na)	UGT1PN5紫冷47	2mL	核酸増幅法 + Tm解析法、QP(Quenching Probe)法	-	-	-	1~2日	2年	一般生化・血液	専用容器に 真空採血

新規項目

鼻咽頭SARS-CoV-2抗原定量	鼻咽頭ぬぐい液	-	-	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA)	1.00未満	pg/mL	※2	1時間	1日	外来迅速	時間外のみ
-------------------	---------	---	---	---------------------	--------	-------	----	-----	----	------	-------

※1 共用基準範囲 ※2 メーカー添付文書 ※3 Medical Practice vol.4 ※4 日本臨牀 68巻 増刊号6 ※5 日本臨牀 68巻 増刊号1 ※6 小児科49増刊号2017

1.4 一般検査

- ・尿検査に必要な尿量は、尿一般定性、尿沈渣それぞれ 10 mL (同時に依頼する場合は 20 mL)。
- ・採取容器は尿カップ、入院患者の場合は尿スピッツに入れて提出すること。

一般検査 ■ 専用容器、■ 冷蔵 or 冷蔵+専用容器

項目名		検査材料	採取容器	検体量	検 査 方 法		基準範囲	単位	基準範囲 の根拠	所要時 間	検体保存 期間	依頼画面	備考
尿一般定性													
尿一般定性	色調	尿	尿一般白41	10mL (尿沈渣を 同時に依 頼する場 合は 20mL)	透過光測定法	淡黄色 ～ 黄褐色	—	※4	1時間	当日	生化・尿化・ワ氏	追加検査は、提出 後4時間まで可能	
	混濁				散乱光測定法	(－)	—	※4					
	比重				反射型屈折率測定法	1.005 - 1.030	—	※3					
	PH				試験紙法 (pH指示薬法)	5.0 ～ 7.5	—	※3					
	蛋白				試験紙法 (pH指示薬の蛋白誤差法)	(－)	定性値: (－) ～ (4+) と報告	※4					
	糖				試験紙法 (グルコースオキシダーゼ法)	(－)	定性値: (－) ～ (4+) と報告	※4					
	ケトン体				試験紙法 (pH指示薬の蛋白誤差法)	(－)	定性値: (－) ～ (4+) と報告	※4					
	ウレリノーゲン				試験紙法 (アゾカップリング法)	NORMAL	定性値: (－) ～ (4+) と報告	※3					
	ビリルビン				試験紙法 (アゾカップリング法)	(－)	定性値: (－) ～ (4+) と報告	※4					
	潜血反応				試験紙法 (ヘモグロビン接触活性法)	(－)	定性値: (－) ～ (3+) と報告	※4					
	白血球				試験紙法 (白血球エステラーゼ活性法)	(－)	定性値: (－) ～ (4+) と報告	※4					
	亜硝酸塩				試験紙法 (グリース反応法)	(－)	—	※4					
尿沈渣													
機械沈査	赤血球	尿	尿一般白41	10mL (尿一般定 性を同時 に依頼す る場合 は20mL)	自動機械法 (フローサイトメリー法)	0～4	/HPF	※5	1時間	当日	生化・尿化・ワ氏	追加検査は、提出 後4時間まで可能	
	白血球				自動機械法 (フローサイトメリー法)	0～4	/HPF	※5					
目視沈査	赤血球	尿	尿一般白41	10mL (尿一般定 性を同時 に依頼す る場合 は20mL)	鏡検法	0～4	/HPF	※5					
	白血球				鏡検法	0～4	/HPF	※5					

※1 メーカー添付文書 ※2 共用基準範囲 ※3 臨床検査法提要第35版 ※4 臨床検査データブック2021-2022 ※5 一般検査技術教本

1.5 輸血検査

- ・採取容器は紫 11（採血量 5 mL）
- ・輸血前保存検体のみ青 2 容器に 3 mL 採血すること

項目名		検査材料	採取容器	検体量	検査方法	所要時間	検体保存期間	依頼画面
血液型検査-ABO式、Rh(D)因子								
ABO血液型	抗A血清	全血(EDTA・2Na)	血型輸血紫11	5mL	赤血球凝集反応 [定性]	30分	1週間	輸血→輸血検査
	抗B血清							
	A1血球							
	B血球							
Rh (D) 血液型	Rh (D) 血液型							
	抗D血清							
	コントロール							
不規則抗体検査								
不規則抗体スクリーニング	不規則抗体スクリーニング	血漿(EDTA・2Na)	不規則輸血紫11	5mL	赤血球凝集反応 [定性]	1時間	1週間	輸血→輸血検査
	不規則抗体酵素法							
	不規則抗体間接クームス							
不規則性抗体同定検査	不規則性抗体名 (1～5)	血漿(EDTA・2Na)	不規則輸血紫11	5mL	赤血球凝集反応 [定性]	1時間	1週間	
不規則抗体抗体価測定	不規則性抗体価 (1～3)	血漿(EDTA・2Na)	不規則輸血紫11	5mL	-	-	1週間	
直接クームス試験	間接クームス	全血(EDTA・2Na)	クームス輸血紫11	5mL	赤血球凝集反応 [定性]	30分	1週間	
	直接クームス(多特異)							
	抗IgG血清							
	抗補体血清							
	抗体解離試験							
-								
移植前後 抗A抗体価	抗AIgM	血漿(EDTA・2Na)	AB抗体輸血紫11	5mL	-	-	1週間	輸血→輸血検査
	抗AIgG							
移植前後 抗B抗体価	抗BIgM	血漿(EDTA・2Na)	AB抗体輸血紫11	5mL	-	-	1週間	
	抗BIgG							
輸血前保存検体		血清	輸血前青2	3mL	-	-	2年間	

1.6 感染症検査

項目名		検査材料	採取容器	検体量	検査方法	試薬	基準範囲	単位	基準範囲 の根拠	所要時間	検体保 存期間	依頼画面
感染症迅速検査	血中エンドキシン	血漿	エンドキシン赤12	2mL	ゲル化反応	エンドキシン シングルテストワコー	5.0以下	pg/mL	※1	2時間	1日	感染
	血中β-D-グルカン	血漿	グルカン赤12	2mL	ゲル化反応	β-グルカン テストワコー	11.0以下	pg/mL	※1	2時間	1日	
	プロカルシトニン	血清	プロカルシト青2	2mL	化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA)	ミュータスワコー PCT	0.5以下	ng/mL	※1	20分	1日	
	クリプトコッカス 抗原 LA法	血清、髄液	クリプト抗原青2	2mL	ラテックス凝集反応	セロダイレクト栄研 クリプトコッカス	(-) -	- 倍	※1 ※1	2時間	1日	
	クロストリジウム・デフィシルトキシン	便	便中クロスト白30	固形便: 拇指頭大 水様便: 1mL以上	イムノクロマト法	TECH LAB C.DIFF QUIK CHEK コンプリート	CD抗原(-) トキシン(-)	-	※1	60分	1週間	細菌検査 - 感 染症迅速検査
	尿中レジオネラ抗原	尿	尿中抗原白41	1mL	イムノクロマト法	リボテスト レジオネラ	(-)	-	※1	30分	1週間	
	尿中肺炎球菌抗原	尿、髄液	尿中抗原白41	1mL	イムノクロマト法	イムノキャッチー肺炎球菌	(-)	-	※1	30分	1週間	
	ノロウイルス抗原	便	ノロ抗原白30	固形便: 拇指頭大 水様便: 1mL以上	イムノクロマト法	イムノキャッチーノロ Plus	(-)	-	※1	30分	1週間	
	マイコプラズマDNA	咽頭	カルチャースワブEZ	スワブ1本	LAMP法	Loopamp肺炎マイコプラズマ検出試薬 キットD	(-)	-	※1	1日	1日	
	百日咳菌DNA	鼻咽頭ぬぐい液	メンティップ・滅菌KR スクリュースピッツ キャップ付き	スワブ1本	LAMP法	Loopamp百日咳菌検出試薬キットD	(-)	-	※1	1～2日	1日	
SARS-CoV-2核酸検出検査	鼻咽頭ぬぐい液	メンティップ・滅菌KR スクリュースピッツ キャップ付き	スワブ1本	RT-PCR法	ジーンキューブHQ SARS-CoV-2 XpertXpressSARS-CoV-2「セフィエ ド」	(-) (-)	- -	※1 ※1	2時間 2時間	1日 1日		
一般細菌検査	塗抹検査(一般細菌)	-	-	1mL以上	グラム染色(フェイバー法)	フェイバーG F	-	-	-	60分	1週間	細菌検査 - 一 般細菌検査
	培養・同定(一般細菌)	-	-	1mL以上	質量分析法	-	-	-	-	2～7日	1週間	
	薬剤感受性(一般細菌)	-	-	-	微量液体希釈法	ドライブレート栄研	-	-	-	3～8日	1週間	
	嫌気性菌培養	-	-	-	-	-	-	-	-	4～10日	1週間	
	塗抹鏡検(真菌)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1週間	
	培養同定(真菌)	-	-	-	-	-	-	-	-	3～14日	1週間	
抗酸菌検査	塗抹法(抗酸菌)	-	-	1mL以上	チールネルゼン染色	-	(-)	-	※2	1日	1週間	細菌検査 - 抗 酸菌検査
	培養(抗酸菌)	-	-	1mL以上	固形培地	小川培地	-	-	-	8週間	1週間	
	同定検査	-	-	1mL以上	質量分析法	-	-	-	-	4～8週間	1週間	
	薬剤感受性(抗酸菌)	-	-	1mL以上	-	-	-	-	-	8週間	1週間	
	結核菌核酸同定精密検査 (PCR)	-	-	1mL以上	PCR法 + QP(Quenching Probe)法	ジーンキューブMTB	(-)	-	※1	2日	1日	細菌検査 - 抗 酸菌PCR検査
	MAC核酸同定精密検査 (PCR)	-	-	1mL以上	PCR法 + QP(Quenching Probe)法	ジーンキューブMAC、 ジーンキューブMAI	(-)	-	※1	2日	1日	

※1 メーカー添付文書 ※2 抗酸菌検査ガイド2020

1.7 生理機能検査

生理機能検査

測定項目	子項目	装置	機器メーカー	検査後 報告時間	依頼画面	備 考
安静12誘導心電図	標準12誘導	ECG2450	日本光電	即時	心電図	-
	RR間隔変動解析			即時		-
	出張12誘導	cardiofax S		30分		移動困難な場合に限る
	Late Potential (LP)	ECG2450		即時	ホルター心電図	
負荷心電図	マスター2階段負荷single	ECG2450	日本光電	即時に反 映	心電図	禁忌基準をご確認ください 負荷検査には医師の立ち会いが必要で す
	マスター2階段負荷double					
	マスター2階段負荷triple					
	歩行負荷					
	トレッドミル負荷	STS-2100	日本光電 ミナト医科学	1時間	運動負荷心 電図	
	エルゴメーター負荷			1時間		
	CPX-トレッドミル負荷	エアロモニタ AE-310SRC		1時間		
	CPX-エルゴメーター負荷	STS-2100		1時間		
チルトアップテスト	-	-	-	-	生理機能 その他	医師実施検査
ホルター心電図	-	RAC3103, RAC3203	日本光電	1日程度	ホルター心 電図	-
12誘導ホルター心電図	-	RAC-2102		1日程度		-
ホルター心電図・24時間血圧	-	RAC-3502		1日		-
24時間血圧測定検査	-	-	エーアンドディ	1日		-
携帯型睡眠時無呼吸検査	-	PULSOX-M6300	帝人ファーマ	-		-
	-	SAS2200		-		-
	-	Alice PDx	RESPIRONICS	-		-

生理機能検査

測定項目	子項目	装置	機器メーカー	検査後 報告時間	依頼画面	備考
血圧脈波測定(CAVI)	-	VaSera VS3000TN	フクダ電子	10分	血圧脈波伝播速度	-
Augmentation Index(AI)	-	Colin HEM-9000AI	オムロンコーリン	10分	-	-
心エコー	超音波検査は2023年4月1日より超音波センターに移管されました	95, Vivid E9	GE	当日中	一般心エコー	医師実施検査
頰動脈エコー		40S		1時間	頸部血流検査	
経食道エコー		-		1時間	専門エコー	
脳波検査	10-20法	Neurofax1218	日本光電	10分(病棟へはメッセンジャーによる搬送時間を要する場合があります)	脳波	小児の場合、検査中の睡眠が必要です。昼寝をさせないなど配慮をお願いします。眠れない、安静にできない場合は、検査をできない場合があります
	睡眠賦活			-		移動困難な場合に限る
	出張ベッドサイド脳波	脳波計の都合のつかないときは延期、あるいはお断りする場合があります(検査部には移動可能な脳波計はありません)内線3686で予定の打ち合わせをお願いします	-	-		-
	脳死判定(ECI判定)	-	-	-		-
神経生理検査(神経伝導検査・誘発脳波・筋電図等)	運動神経伝導速度	Neuropack MEB2300	日本光電	10分	筋電図	-
	知覚神経伝導速度			10分		-
	F波・H波			10分		-
	針筋電図			10分		針筋電図は医師実施検査です
	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図			10分		-
	電流知覚閾値測定			10分		-
	体性感覚誘発電位			10分		-
	視覚誘発電位			10分		-
	聴覚誘発反応			10分		-
	糖尿病性神経障害スクリーニング			10分	生理機能その他	-

生理機能検査

測定項目	子項目	装置	機器メーカー	検査後 報告時間	依頼画面	備 考
呼吸機能検査	肺活量	CHESTAC8900	チェスト	電子カルテに即時に反映されます	呼吸機能	気切の方は検査困難です 特に精密呼吸機能は検査不能です 故障時など必要に応じてSPIROMETER HI-801(チェスト)を併用します
	努力性肺活量					最低1000mL程度の肺活量が無ければ測定できません
	機能的残気量					－
	肺拡散能力					－
	Closing Volume					－
	N2洗出し試験					－
基礎代謝率	－			15分	基礎代謝率	起床直後、絶飲絶食安静状態で検査します 検査室まではストレッチャー等で安静を保って来てください 管をくわえて3分程度安静換気をします 原則として入院患者が対象です。
呼気中NO濃度	－	NIOX VERO		電子カルテに即時に反映されます	呼吸機能	最低1000mL程度のVCが無ければ測定できません
新生児聴覚スクリーニング	－	Natus Algo3i	アトムメディカル	10分	生理機能 その他	眠った状態で検査します。覚醒時でも検査可能ですが、偽陽性の可能性が増します 新生児室、GCU、NICU、東2F入院中の場合は出張して実施します
尿素呼気試験	－	POC one	大塚製薬	30分	尿素呼気試験	当日は絶飲絶食、禁煙
血管内皮機能検査	－	ユネクスイーエフ	ユネクス	30分	生理機能その他	－

1.8 病理検査

	検査項目	検査方法	採取容器	添加剤	検査材料	保存条件	所要日数 ※	採取・提出条件 検体提出までの保存条件	依頼材料 保存期間
病理 診断	手術	HE染色	タッパ－ ボトル ホルマリン容器 (25mL、12mL) 標本瓶(大、中、小)	10%中性緩衝ホルマリ ン	手術材料	室温	7日～10日	採取後、速やかにホルマ リン入り容器に入れて下 さい	スライド ガラスは 15年間保 存 標本ブ ロックは 半永久的 に保存
		特殊染色							
		免疫染色							
	生検	HE染色	ホルマリン容器 (25mL、12mL) 標本瓶(中、小)	10%中性緩衝ホルマリ ン	生検	室温	3日～4日	採取後、速やかにホルマ リン入り容器に入れて下 さい	
		特殊染色							
		免疫染色							
	術中迅速組織	迅速HE染色	オノシャーレ 標本瓶(中)	なし	部分切除	室温	当日(仮報告) 3日～4日(登録)	採取後、生材料のままで 速やかに提出して下さ い。骨など硬い検体は迅 速検査出来ない可能性が あります	
		UFP染色			部分切除	室温	当日(仮報告) 3日～4日(登録)		

<注意点>

- ・正しい結果を出すためには、適切な検体採取とその取り扱いが必要です。
- ・適切に固定処理を行ってください。固定条件の悪い場合は診断が困難になることがあります。
- ・結核疑いの可能性がある検体については病理部に連絡してください。
- ・未固定検体が必要な検査（術中迅速検体、腎生検検体、フローサイトのリンパ節検体など）に関してはシャーレや標本瓶に入れてそのまま病理部に提出してください。

※所要日数に関しては、病理部に検体提出後の業務日数（90%以上の提出検体が報告される目安の日数）であり、至急報告が必要な場合は相談に応じます。

ただし、治療上必要かつ技術的に可能な場合に限りま。

免疫染色などの追加検索のため、所要日数が上記日数より超過する場合があります。特に脱灰作業により標本作製の遅延が生じる時もありますのでご了承ください。

	検査項目	検査方法	採取容器	添加剤	検査材料	保存条件	所要日数 ※	採取・提出条件 検体提出までの 保存条件	依頼材料 保存期間
細胞診検査	婦人科 (腔部、頸部、 内膜)	パパニコロウ染色	婦人科細胞診用容器	95%エタノール	塗抹標本	室温	3日～6日	採取後、スライドガラスに塗抹し、速やかに固定液に入れてください	スライドガラスは 15年間保管
	喀痰	パパニコロウ染色	滅菌喀痰容器	なし	喀痰	冷蔵	3日～6日	・食物残渣の混入回避のため、採痰前は口をすすぐこと ・早朝痰が望ましい 採取後速やかに提出して下さい	
	蓄痰	パパニコロウ染色	YM式喀痰固定液容器	ポリエチレングリコール、粘液融解剤	蓄痰	室温	3日～6日	・YM式固定液に喀痰を採取し、痰を入れたらすぐに振盪する ・3日間蓄痰する	
	気管支ブラシ 気管支洗浄液	パパニコロウ染色 UFP染色 ギムザ染色	滅菌スピッツ 細胞診用容器	95%エタノール	擦過物・ 気管支洗 浄液	室温	3日～6日	採取後、スライドガラスに塗抹し、速やかに固定液に入れてください	
	EUS-FNA	パパニコロウ染色 UFP染色 ギムザ染色	オノシャーレ 滅菌スピッツ 細胞診用容器	95%エタノール、BD サイトリッチレッド 液	穿刺材料	室温	3日～6日	採取後、速やかに提出して下さい	
	病巣穿刺物 病巣擦過物	パパニコロウ染色 ギムザ染色	滅菌スピッツ 細胞診用容器	95%エタノール、BD サイトリッチレッド 液	穿刺・擦 過材料	室温	3日～6日	採取後、スライドガラスに塗抹し、速やかに固定液に入れてください	
	体腔液 (胸腹水、心嚢液)	パパニコロウ染色 PAS反応 ギムザ染色	遠心管 滅菌スピッツ カップ	なし	体腔液	冷蔵	3日～6日	採取後、数回転倒混和し、速やかに提出して下さい	
	胆汁・膵液	パパニコロウ染色	滅菌スピッツ	なし	胆汁 膵液	氷中	3日～6日	採取後、氷中で速やかに提出して下さい	
	髄液	パパニコロウ染色 ギムザ染色	滅菌スピッツ	なし	髄液	室温	3日～6日	採取後、速やかに提出して下さい	
	口腔擦過	パパニコロウ染色	滅菌スピッツ	BDサイトリッチレッド液、95%エタノール	口腔 擦過材料	室温	3日～6日	採取後、速やかに提出して下さい	
	自然尿 カテーテル尿 膀胱洗浄液 回腸導管尿	パパニコロウ染色	遠心管 滅菌スピッツ カップ	なし	尿	冷蔵	3日～6日	採取後、速やかに提出して下さい	

	検査項目	検査方法	採取容器	添加剤	検査材料	保存条件	所要日数 ※	採取・提出条件 検体提出までの保存条件	依頼材料 保存期間
細胞診検査	術中細胞診	迅速パパニコロウ染色	遠心管 滅菌スピッツ カップ	なし	体腔液・ 穿刺内容 液	室温	当日（仮報告） 3日～4日（登録）	採取後、数回転倒混和し、 病理部に電話連絡し、速や かに提出して下さい	スライド ガラスは 15年間保 管

< 注意点 >

- ・速やかに固定とは、1秒以内に固定液に入れることです。
- ・添加剤の項目が【なし】の検体は、そのままの状態で提出してください。
- ・体腔液は、提出が翌日にならないように注意してください。時間が経過した検体では、細胞変性やフィブリン析出で検査不能となる恐れがあります。万一、体腔液を採取日に提出出来ない場合は冷蔵庫で保存してください。
- ・歯科口腔検体は原則LBC入りのスピッツ提出方法ですが、症例により95%エタノール固定や乾燥固定をして提出してください。
- ・LBC残検体がある場合は、スピッツにBDサイトリッチレッド液を入れて病理部で約1ヶ月間保存します。

※所要日数に関しては、病理部に検体提出後の業務日数（90%以上の提出検体が報告される目安の日数）であり、至急報告が必要な場合は相談に応じます。ただし、治療上必要かつ技術的に可能な場合に限りです。

2. 検査室の連絡先

2.1 住所

香川大学医学部附属病院

郵便番号 761-0793

香川県木田郡三木町大字池戸 1750-1

検査部・輸血部・病理部

2.2 電話番号

- ・ 代表電話番号 087-898-5111 (香川大学医学部附属病院)
- ・ 検査部受付 内線 3670
- ・ 輸血部 内線 3694
- ・ 病理部 内線 3697

3. 参考文献

- 1) 臨床検査法提要 改訂第 35 版 (EX 資料/血液/031)
- 2) 動脈硬化性疾患予防ガイドライン (日本動脈硬化学会) (EX 資料/生化/012)
- 3) エビデンスに基づく CKD ガイドライン (日本腎臓学会) (EX 資料/生化/016)
- 4) 日本臨床検査自動化学会会誌,13(5),659,1988 (EX 資料/生化/017)
- 5) 緊急検査～血液ガス分析テキスト～ (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス (株)) (EX 資料/生化/018)
- 6) 正常値ハンドブック改訂第 3 版 (EX 資料/血液/033)
- 7) スタンダードフローサイトメトリー第 2 版 (EX 資料/血液/037)
- 8) 臨床検査データブック 2021-2022 (EX 資料/血液/019)
- 9) Medical Practice vol.4 (EX 資料/免疫/017)
- 10) 日本臨牀 68 巻 増刊号 6 (EX 資料/免疫/011)
- 11) 日本臨牀 68 巻 増刊号 1 (EX 資料/免疫/010)
- 12) 一般検査技術教本 (EX 資料/血液/018)
- 13) 抗酸菌検査ガイド 2020 (EX 資料/感染/002)
- 14) 小児内科 49 増刊号 2017 (EX 資料/免疫/091)